



記事を読んで、問いに答えなさい。

**解答例**

2020年8月28日朝刊 東部版

## 水温や水位 遠隔チェック

三島・中郷用水土地改良区が見学会



パソコンで水管理を行うシステムの見学会＝函南町

三島市の中郷用水土地改良区は27日、情報通信技術（ICT）による水管理システムを導入した水田の見学会を函南町で開いた。スマートフォンやパソコンなどで水温や水位を確認し、遠隔での自動給水が可能なシステムの有用性を確認した。

自動給水システム  
農作業省力化に期待

同システムは県などによるコンソーシアムが2017年度から3年間にわたり、安価で農作業の省力化につながる機器の開発、活用に向けて実証実験を行った。水田に取り付けたセンサーで計測した水位、水温のデータが農業者のスマホに送信され、設定した水位の下限と上限の範囲内に水量を調節するよう自動給水する。県東部農林事務所によると、実証実験では水管理に費やす時間が約7割削減されたという。

一定の水位を保つことで除草剤なども均一に広まるとし、同改良区の白井幸太郎理事（75）は「さまざまなメリットが期待できる。野菜などの分野にも応用できないか」と話した。

①記事の水管理システムでは、スマートフォンやパソコンで何ができるのか。

( (水田の)水温や水位の確認、遠隔での自動給水 )

②記事のシステムを導入した場合、どのようなメリットが期待できるのか。記事中の関係するところに線を引きなさい。

③記事のシステムは今後、どのようなことに応用できそうか。あなたの考えを40字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)

ビニルハウスで栽培している花や野菜の水管理にも応用できるだろう。(32字)

家畜を飼育する際の水やりの量と時間の調整にも応用できるのではないか。(34字) など

年 組 名前